

# 薬液カセット・ポンプの取り扱い方法

薬液カセットの取り扱い方法	36
使用時の注意点	36
保管方法	36
使用後の廃棄方法	36
薬液カセットを持ち運びする際の注意点	36
ポンプに使用する電池について	37
使用する電池	37
電池交換の目安	37
電池の交換方法	38

# 薬液カセットの取り扱い方法

## 使用時の注意点

- カセットは冷蔵庫から取り出した後、20分間程置いてから使用します。
- 使用する前に使用期限を確認し、使用期限の過ぎたカセットは使用しないでください。
- カセットは1日使い切りです。
  - ✓16時間を超えてお薬を投与しないでください。
  - ✓カセット内にお薬が残っていても、翌日使用しないでください。

## 保管方法

- 冷蔵庫(2℃～8℃)で保管してください。
  - ✓チルド室や冷凍庫での保管はしないでください。
- 高温では有効成分の分解が進み、有害物質が増えるおそれがありますので、誤って室温で長く保管してしまった場合は使用しないでください。
- お薬は光に敏感ですので、カセットは必ず箱に入れたまま冷蔵庫に保管してください。
- 箱に入れたカセットを冷蔵庫で適切な状態で保管していても、時間の経過により、お薬が少し黄色っぽくなることがあります。変色してもお薬の作用は変わりませんのでご安心ください。

## 使用後の廃棄方法

- 使用済みのカセットは、お薬が残っていても必ず廃棄してください。
- 使用済みのカセットは、袋等に入れて未使用のものと区別してください。
  - ✓再び冷蔵庫の箱の中に戻さないでください。
- カセットにはリサイクルマークが表示されていますがリサイクルすることはできませんので、カセットは分解しないでください。
- 使用済みのカセットは在宅医療廃棄物です。廃棄方法は地域ごとに異なりますので、お住いの市区町村の規則にしたがって、廃棄してください。
- リサイクルには決して出さないでください。

## 薬液カセットを持ち運びする際の注意点

- 移動中はカセットを保冷バッグ等で適切な温度で保管し、目的地に着いたら直ちにカセットを冷蔵庫に入れてください。

# ポンプに使用する電池について

## 使用する電池

- アルカリ乾電池単3形を2本使用します。他の電池は使用しないでください。
- 充電タイプの乾電池やニッケル水素電池、マンガン電池では十分な電力がポンプに供給されない可能性がありますので使用しないでください。
- 外出時の電池切れに備えて、アルカリ乾電池を2本携帯することを推奨します。
- 災害時に備えて、アルカリ乾電池単3形を8本程度を常備することを推奨します。

## 電池交換の目安

- アルカリ乾電池なら、通常は1週間程使用することが可能ですが、温度や投与量、電池のメーカーによっては早く電池が消耗する場合があります。また寒い時期には乾電池の消耗が早まる場合があります。
- ポンプには電池の残量が少なくなるとアラームでお知らせする機能があります。アラーム音であわてないように、早めの電池交換を推奨します。

電池の残量が少なくなると鳴るポンプアラーム

### デンチギレ

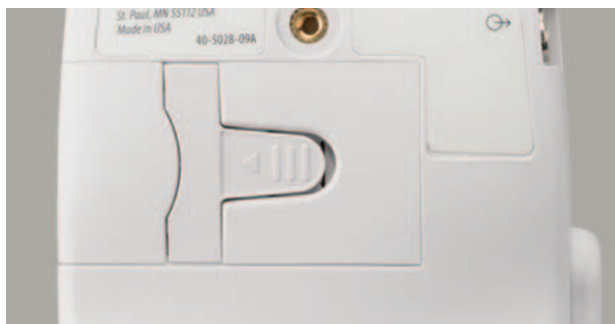
画面表示	デンチギレ
音	ビーブビーブビーブ 5分毎に3回繰り返し鳴ります。
対応	ただちに新しい電池に交換します。

このまま放置すると完全に電池がなくなり **デンチフリオウ** のアラームが鳴り、ポンプは完全に停止します。

メモ欄 (電池交換のタイミングについて医療機関からの指示などがあれば記入してください)

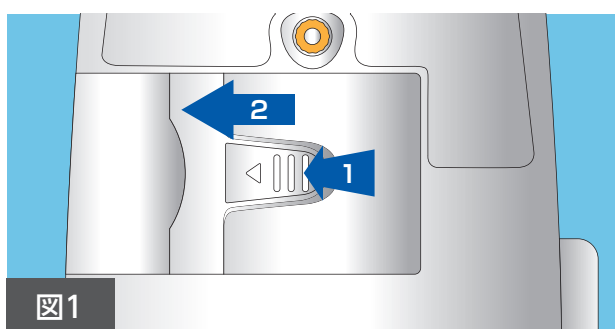
## 電池の交換方法

1. ポンプの電源を切ります。



2. 電池カバーを矢印(1)のように押し、矢印(2)の方向にスライドさせてポンプから外します(図1)。

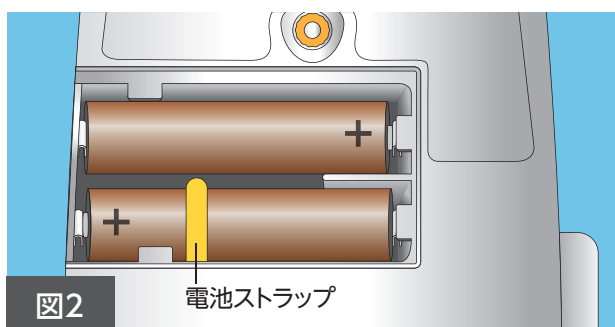
ポンプを停止してから15秒以内に電池を取り出すとアラームが鳴ることがあります。



3. 使用済みの電池を取り出します。電池ストラップ(黄色いリボン)の端を引っ張ると、取り出しやすくなります。

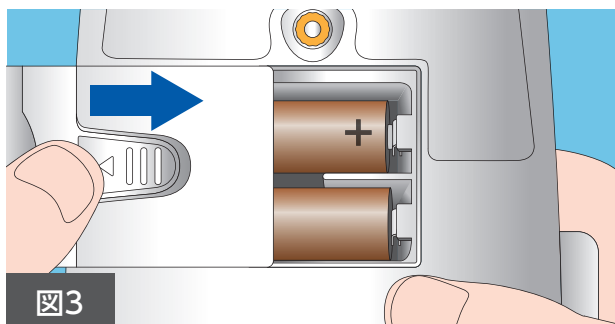
4. 新しい電池を挿入すると、ビープ音が鳴り電源が入ります(図2)。

- ・アルカリ乾電池単3形を2本使用します。
- ・電池は、電池ボックスの底に表示されている電極方向に合わせて入れてください。
- ・電池ストラップの上に、電池を入れます。



5. 電池カバーをはめます(図3)。

- ・電池ストラップは電池ボックスの中に収納します。



### ポイント

このとき電池カバーで電池ストラップをかまないように注意してください。